

平成27年度 事業報告

【概況】

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が声高かに叫ばれている昨今、地域のささえあいの体制づくりを構築していくことは、地域福祉の推進を担う社会福祉協議会の役割であります。本会では「第2期荒尾市地域福祉活動計画」にも示したように、新たな地域福祉活動の基盤づくりと、地域住民によるささえあいの推進及びその活動支援を地域福祉事業の柱として取り組みを進め、29年度から開始される地域包括ケアシステムにおける新しい総合事業開始に向けた準備を整えて参りました。

社協の事業におけるもう一つの柱であります介護保険事業につきましては、訪問介護事業及びデイサービス事業等介護報酬の減額改定の影響により、前年と比較すると減収になりました。障害福祉サービス事業につきましても、利用者が、障害福祉サービスから介護保険サービス事業へ移行するなど、訪問によるサービスは介護保険同様、減収になっています。しかしながら、ふれあい福祉センターにおける生活介護事業の利用者が、前年と比較すると増加したことで、障害福祉サービス事業全体としては、増収という結果となりました。

収益事業の売店経営につきましては、ほぼ前年同様の売り上げを確保することができました。

最後に、法人全体としては、本会経営の柱の一つである介護保険事業の減収が大きく響き、27年度は市からの運営費補助の増額があつたにもかかわらず赤字決算となり、依然として厳しい経営状況が続いています。

各事業の実施状況については以下のとおりとなりましたので、報告いたします。

法人運営部門

【理事会、評議員会】

(1) 理事会開催

回数	開催日	提出議案
第1回	平成27年 5月27日(水)	平成26年度事業報告並びに一般会計決算について 平成26年度収益事業市民病院内売店特別会計決算について 評議員の選任について 副会長の選任について
第2回	平成27年 7月24日(金)	平成27年度資金収支補正予算案1号について 評議員の選任について
第3回	平成28年 2月27日(土)	会長並びに副会長の選任について
第4回	平成28年 3月28日(月)	平成27年度資金収支補正予算案2号について 平成28年度事業計画並びに資金収支予算案について 特定個人情報等取扱規程の制定について

(2) 評議員会開催

回数	開催日	提出議案
第1回	平成27年 5月7日(木)	理事の選任について
第2回	平成27年 5月27日(水)	平成26年度事業報告並びに一般会計決算について 平成26年度収益事業市民病院内売店特別会計決算について 理事の選任について
第3回	平成27年 7月24日(金)	平成27年度資金収支補正予算案1号について 理事の選任について
第4回	平成28年 2月18日(木)	監事の選任について
第5回	平成28年 3月28日(月)	平成27年度資金収支補正予算案2号について 平成28年度事業計画並びに資金収支予算案について 特定個人情報等取扱規程の制定について

(3) 監査

開催日	内容
平成27年5月18日(月)・19日(火)	平成26年度会計監査

【会費、寄付金】

(4) 会費制度

会員加入状況

		一般	賛助	特別	合計
25年度	件数	45	474	33	552
	金額	22,500	474,000	330,000	826,500
26年度	件数	82	455	34	571
	金額	41,000	455,000	340,000	836,000
27年度	件数	61	430	36	527
	金額	30,500	430,000	360,000	820,500

(5) 香典返し及び一般寄付

27年度は大口のご寄付があったため、一般寄付の金額を増加しました。地域福祉を進めるための重要な財源として、寄付件数が減少しないようPRを図ります。

寄付申込み状況

		香典返し寄付	一般寄付	合計
25年度	件数	401	15	416
	金額	5,092,000	495,775	5,587,775
26年度	件数	395	10	405
	金額	4,512,220	221,286	4,733,506
27年度	件数	390	11	401
	金額	4,585,000	1,678,934	6,263,934

地域福祉部門

【地域福祉サービス】

(1) ささえあい活動推進地区

地域包括ケア構築の実現に向け、取り組みを実施する区の掘り起こしを行いました。また、サロンを核とし、サロン以外のメニューにも取り組んでいただけるよう、ささえあい活動全体の啓発をしました。

1、高齢者いきいきサロン事業

平成27年度も6地区より申し込みをいただきました。指定数は43か所、行政区ベースでは54行政区で取り組んでいただいています。行政区のカバー率は43パーセントとなりました。

開設状況

	25年度	26年度	27年度
指定地区数	32	37	43
開設延日数	506	566	642
人員	10,696	12,334	13,040



△万田中サロンでは夏休みに子供たちと合同で朝ごはんサロンを実施されました。



△大平町サロン合同七夕会の様子

2、買い物支援事業

公民館で買い物支援の販売会を開催していただいています。27年度は新規に1か所申し込みがありました。徐々にではあるが問い合わせも増えてきています。

	26年度		27年度		
	回数	延べ人員	回数	延べ支援者数	延べ購入者数
助丸	12	298	14	58	291
猫宮	19	130	23	74	149
中央	5	97	11	130	242
向一部	6	49	12	36	120
南増永	—	—	6	16	37
合計	42	574	66	314	839



△助丸区買い物支援販売会の様子 最近は販売だけでなく、配達も行われるようになりました。

3、日常生活支援

高齢者の日常生活における困りごとを各区でボランティアのグループを作ってもらい、困りごとを解決する仕組みを作ってもらおう。27年度は3行政区より申し込みがあり、そのうち2行政区で草刈りやゴミ出し、蛍光灯の交換などのサービスが提供されました。

	草刈り 剪定	家屋 修繕	買い物	ゴミ 出し	蛍光灯 交換	その他	合計
猫宮	11	1	1	2		5	20
中央							0
南増永		2	2	5	2	1	12
合計	11	3	3	7	2	6	32



△猫宮区日常生活支援の様子 高齢者宅の生垣の剪定を多くのボランティアの協力で実施されました。

4、地域住民による見守り体制の整備

住民のささえあいによる見守りの組織を作っただき、日頃より地域で暮らす高齢者などの見守りを実践していただいています。協力者に見守りチェックリストを配布するなどして見守りの意識向上に努めています。

	見守り	訪問	緊急通報	相談
東宮内	448	457		
北増永	1,829	201		
助丸	1,700	512	1	
上井手上	1,242	59		
岱洋東	1,121	6		
猫宮	1,884	159	1	16
万田東	1,366	37	1	
大平町	437	72	3	16
向一部	1,106			
南増永	1,354	305		
合計	12,487	1,808	6	32

5、認知症徘徊見守り模擬訓練

井手川地区協議会で認知症徘徊模擬訓練を実施しました。地区協議会単位での実施は荒尾市内において同地区が初めての試みとなりました。

井手川地区協議会徘徊模擬訓練

○事前会議

1月17日（日） 徘徊模擬訓練とは、実行委員会について

○実行委員会

2月 7日（日） 訓練の実施方法について

3月13日（日） 訓練の各担当について、当日の確認

○事前学習会

2月21日（日） 10：00 深瀬ヶ丘、倉懸、辻町

19：00 古庄原、深瀬倉掛

【内容】 認知症への理解
認知症の方への対応方法
ロールプレイ

○訓練実施

日時 3月20日（日） 9：00

内容 情報伝達訓練、搜索・声かけ訓練、反省会

搜索・声かけ訓練 声かけされた方 48名



△徘徊模擬訓練で行われた搜索・声かけ訓練の様子



△徘徊模擬訓練後の反省会の様子

(2) 福祉委員の見守り活動

27年度は地域情報交換会において地域包括ケア構築に向けたヒアリング調査を実施しました。地域の困りごとの調査とボランティアに対する意識の聞き取りを行いました。これらの結果に基づき、荒尾市における生活支援ボランティアの仕組み作りに活かしていきたいと考えています。

福祉委員活動延件数

	25年度	26年度	27年度
相談件数	311	403	563
友愛訪問	9,456	11,209	10,640
情報提供	4,281	5,143	4,541
電話、その他	1,419	1,317	1,394
合計	15,467	18,072	17,138

○研修などの活動

6月19日(木) 総会 66名参加
 ・26年度事業報告、決算
 ・27年度事業計画、予算
 ・「生活困窮事業について説明」

11月11日(水) 全体研修会 59名参加
 「介護保険の基礎と介護予防の改正について」

3月13日(金) 全体研修会 66名参加
 「緊急通報装置について」

○情報提供、情報収集強化月間 10月、3月

○情報提供資料の配布

- ・情報提供かわらばんの発行 2回
- ・その他の情報 随時配布



△福祉委員研修会の様子

○一斉友愛訪問日 10月18日(日)
 3月20日(日)

○地区情報交換会

27年度は地域包括ケア総合事業の実施に向けて、ボランティアに対する意識の調査について実施しました。

地区情報交換会参加人員

8月26日(水) 井手川・緑ヶ丘地区	4名	10月26日(月) 有明地区	7名
8月27日(木) 荒尾地区	9名	10月27日(火) 府本地区	6名
9月16日(水) 万田中央地区	2名	2月22日(月) 中央地区	8名
9月17日(木) 万田地区	8名	2月26日(金) 平井地区	6名
10月 5日(月) 桜山地区	4名	3月 2日(水) 八幡地区	5名
10月 7日(水) 清里地区	5名		

(3) 地域福祉活動に対する地域への説明

ささえあい活動が地域に広まるよう、地域に出向くなどして活動に対する説明などの機会を設けました。

ささえあい活動などの説明

	実施回数
25年度	25
26年度	22
27年度	39

【内訳】

ささえあい活動全般	6回
サロン活動	16回
徘徊模擬訓練	13回
食育関係	2回
見守り	1回
日常生活支援	1回



△公民館に出向いてささえあいに対する説明会を開催

(4) ささえあい活動の実施に対する支援

ささえあい活動実施に対する支援を実施。講師の紹介、昼食の斡旋、買い物支援物品の配達、遊具・備品等の設置などの支援を実施しました。

	支援回数
26年度	65回
27年度	71回



△本村サロンにて行われた体力測定の支援に行きました。

(5) 歳末たすけあい事業

歳末たすけあいの趣旨に賛同され歳末に交流などの事業を実施される区に対し、材料費の助成を実施しました。両事業とも毎年コンスタントに申込数が増加しています。

1、地域活動特別助成事業

地域の交流事業を実施する区または団体に対して材料費の助成を行う事業を実施しました。毎年申込数が増加していることから、27年度より5か所分、応募枠を増やし、対応しました。

	25年度	26年度	27年度
実施数	26ヶ所	28ヶ所	32ヶ所

2、年賀状送付事業助成

ひとり暮らし高齢者に年賀状を送付する事業を実施している区に対し年賀状を現物給付する事業を実施しました。こちらも徐々にではありますが地域からの認知度が上がってきていて、申し込みをされる区も増えてきました。

	25年度	26年度	27年度
実施数	15ヶ所	16ヶ所	19ヶ所
枚数	263枚	278枚	325枚



△岱洋西区では子供たちによる夜警活動を実施されました。



△大平区では子どもたちから心温まる年賀状を送付してもらいました。

(6) 地域包括ケアシステム構築に向けた生活支援ボランティアの準備

平成29年度より開始となる地域包括ケア構築に向けた取り組みを27年度より開始した。ボランティアの登録、日常生活支援のボランティアの仕組みの構築、地域資源の調査などを実施し、29年度からの開始に向け準備を整えてきました。

活動実績

期 日	内 容
4月13日(月)	総合事業ボランティア準備室会議
5月 8日(金)	総合事業ボランティア準備室会議
6月12日(金)	総合事業ボランティア準備室会議
7月16日(木)	総合事業ボランティア準備室会議
8月24日(月)	総合事業ボランティア準備室会議
9月25日(金)	総合事業ボランティア準備室会議
9月29日(火) 30日(水)	生活支援コーディネーター研修会
10月23日(金)	総合事業ボランティア準備室会議
11月25日(水)	総合事業ボランティア準備室会議
11月26日(木)	生活支援コーディネーター連絡会議
12月21日(月)	総合事業ボランティア準備室会議
1月26日(火)	総合事業ボランティア準備室会議
1月29日(金)	在宅ネットあらか研修会参加
2月23日(火)	総合事業ボランティア準備室会議
3月16日(水)	総合事業ボランティア準備室会議
3月17日(木)	地域ケア会議参加
3月23日(水)	総合事業ボランティア準備室会議

(7) 成年後見制度法人後見受任に向けた取り組み

成年後見制度の法人後見の受任に向け、職員のスキルアップのため、後見業務実務などの研修を実施しました。また、体制整備のための助成金を県社協よりいただき、備品類など、活動に必要な物品を購入しました。また、実際に成年後見の申し立てについて、相談者への対応も行いました。

○研修などの活動

- 9月24日(木) 職員スキルアップ研修 5名参加
- 11月13日(金) 玉名家庭裁判所へ書類の提出
- 2月 5日(金) 熊本県司法書士会 成年後見研修会 2名参加
- 2月19日(金) 熊本県司法書士会 成年後見研修会 2名参加



△法人後見を担当する職員に向けてスキルアップのための研修会を開催

(8) 他市町からの視察受け入れ

ささえあい活動などの地域福祉関係の事業に対し他市町からの視察を受け入れました。

7月 8日(水)	長崎県長与町	ささえあい活動について
10月 8日(木)	鹿児島県南大隅町	地域の買い物支援について
10月29日(木)	長崎県諫早市	ささえあい活動、民生委員活動について



△長崎県長与町



△鹿児島県南大隅町

(9) 一次予防事業 地域介護予防支援事業

○公民館への指導者の派遣

おおむね65歳以上の高齢者を対象に筋肉を貯める運動、貯筋体操を地域の公民館に指導者を派遣して実施しています。年々と取り組む地区が増え、参加者も増加傾向にあります。音楽を使用したリズム体操・ストレッチ・筋力トレーニング・口腔体操・頭の体操やレクリエーションを行っています。体操を継続する必要性を伝えるとともに、自分自身の身体と向き合い、いつまでも元気に在宅で過ごせるように、自宅での運動の促進と地域で集まる重要性も同時に啓発しました。

公民館へ指導者の派遣実績

	25年度	26年度	27年度
実施地区	17地区	23地区	30地区
実施回数	457回	517回	586回
延参加者数	5,700人	6,359人	7,377人
延職員派遣数	927人	1,134人	1,181人



△田倉区体操の様子



△山浦町体操指導の様子

○はつらつ貯筋体操教室

今年度も総合福祉センター大会議室ではつらつ貯筋体操教室を毎週月曜日の午前に実施。前年度からの参加者5名と新規参加者19名で行っています。二次予防修了者の受け皿、地域で貯筋体操を実施するためのグループ作り、地域間交流、リーダー養成を目的として実施しました。

はつらつ貯筋教室実施状況

	25年度	26年度	27年度
実施回数	21回	43回	43回
延参加者数	204人	289人	805人
延職員派遣数	45人	88人	88人

(10) 地域活動備品貸出事業

ささえあい活動支援のための備品等の貸し出しを行っています。ささえあい活動が普及するとともに活躍する機会も増えてきています。

備品貸出件数

	25年度	26年度	27年度
鍋	69	47	50
炊飯器	10	6	6
災害時炊き出し釜	12	11	13
調理器具	64	66	81
高齢者疑似体験セット	46	40	30
車いす	20	34	30
パイプ椅子	220	110	135
プロジェクターセット	7	18	14
マイク設備	0	8	7
グラウンドゴルフセット	168	214	30
遊具	43	40	40
テント	3	0	3
机			23
ガスコンロ			8
電源ドラム			3
ブルーシート			1
アイマスク			17

【ボランティアセンター事業】

(11) 災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定締結

荒尾市と災害ボランティアセンター設置及び運営に関する協定を締結し、災害が発生したときの相互の協力体制を書面で取り交わし、災害が発生した時にもスムーズに復興支援ができるよう体制を整えました。

- 日時 2月25日(木)
- 場所 荒尾市役所 市長公室



△協定調印式の様子

(12) 災害ボランティアセンター設置訓練

27年度も多くの方の協力のもと実施することができました。今回は場所を荒尾消防署に移し、自主防災組織の方や有明高校看護科の学生にも参加いただき115名にボランティア役として協力いただきました。多くの方に体験いただくことで災害時にはボランティアセンターを社協が運営するということを啓発することができました。また、職員についても多くのボランティアを受け入れる訓練を体験することができ、スキルアップにつながりました。

【防災会議】	8月27日(木)	2名出席
	10月8日(木)	1名出席
	10月29日(木)	2名出席
	11月12日(木)	2名出席

【訓練】

- 開催日 11月22日(日)
- 会場 荒尾市消防署
- 内容 災害ボランティアセンターの設置運営の訓練
- 参加者 職員29名 ボランティア115名



△オリエンテーション班の様子



△マッチング、グルーピング班の様子

(13) ボランティア養成講座

手話、点字、朗読の3講座を実施。手話に関しては市の講座を修了された方とサークル会員にフォローアップ講座として実施。点字と朗読講座に関しては修了生の皆さんにサークル加入していただき、ボランティアの底辺拡大につながりました。

養成講座開設状況

	26年度			27年度		
	日数	人員	修了	日数	人員	修了
手話（上級）	40	155	—	39	125	—
手話（中級）	40	312	—	39	296	—
点字	31	87	3	30	87	3
朗読	12	40	2	13	34	3



△点字講座閉講式の様子



△朗読講座の様子

(14) ワークキャンプ

夏休みに市内中高生を対象にして、福祉体験を行うワークキャンプを実施しました。今年度は荒尾海陽中と荒尾第四中の生徒に参加していただきました。

○実施学校 荒尾海陽中 5名
荒尾第四中 20名

○実施場所 わがんせ、本村サロン、オレンジヒル小岱

○実施状況

- ・7月23日（木） 本村サロン 海陽中 3名
- ・7月28日（火） わがんせ 海陽中 2名
- ・7月29日（水） オレンジヒル小岱 荒四中 12名
- ・7月30日（木） オレンジヒル小岱 荒四中 8名



△オレンジヒル小岱での四中生徒の体験の様子



△本村サロンでの海陽中体験の様子

(15) 福祉教育の支援

小学生を対象にして、総合学習の一環として福祉体験学習の指導を行いました。学習の中で車いすの体験を実施しました。その他にも高齢者疑似体験セットの貸し出しも実施しました。

- 車いす体験学習への職員の派遣
日時 7月2日(木)
場所 中央小学校
参加 4年生児童(3クラス)
対応職員3名



△中央小車いす体験学習の指導

- 体験学習用具の貸出
6月11日 万田小学校 疑似体験セット(11)
9月7日 有明小学校 疑似体験セット(5)

(16) 情報誌の発行

ボランティアの啓発やボランティア団体の紹介、ボランティア行事の参加募集を中心とした内容として情報誌を毎年4回発刊しました。

- 発行月 5月、8月、11月、2月
- 発行形態 班回覧

(17) ボランティアニーズのコーディネート

年々ボランティアニーズが増加しており、27年度も昨年に比べて増加しています。また、ボランティア登録者も徐々に増加しております。ボランティア啓発や登録を促す情報発信を27年度は実施しました。

ボランティアコーディネート数

25年度	60件
26年度	110件
27年度	139件



△ボランティアのコーディネート
(演芸披露ボランティアの紹介)

(18) ボランティア連絡協議会の運営

健康福祉まつりやボランティアやってみようフェアなどのイベントを通して、市民にボランティア啓発や情報提供を行いました。

○ボランティア連絡協議会総会

期 日 5月16日(土)
場 所 あらおシティモール2階 シティホール
内 容 26年度事業報告
27年度事業計画
レクレーション交流 ペタリング

○ボランティアやってみようフェア

期 日 11月3日(祝・火)
場 所 あらおシティモール1階 出会の広場
内 容 ボランティアの啓発活動
・各グループのボランティア体験コーナー
・朗読サークルによる朗読の披露
・三味線ボランティアによる演奏会



△ボランティアやってみようフェア朗読と手話のコラボ企画

(19) ボランティア保険事務

ボランティア保険の事務を実施。多くのボランティアに安心してボランティア活動に取り組んでいただけるよう、様々な場面で加入に対する啓発等を行いました。

	25年度		26年度		27年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
ボランティア活動保険	34	468	26	489	44	458
ボランティア行事用保険	13	624	18	957	14	935

在宅生活支援部門

【介護保険事業（介護予防事業）】

（1）訪問介護事業（ヘルパーステーション）

介護が必要な利用者宅を訪問し、身体介護や家事援助サービスを提供しました。

29年度に移行する介護予防・日常生活支援総合事業に備え、長洲町の事業所へ先進地研修を行いました。

ヘルパーの資質向上に力を入れており、事業所内部で毎月研修を行っています。今年度は外部講師（理学療法士）を迎えて移乗などの介護技術を勉強しました。また、外部研修にも職員を参加させ、研修内容をヘルパー全員が参加する月例会にて報告し、研修内容の共有を行いました。

【外部研修】

4月16日（木）	サービス提供責任者研修
5月26日（火）	福祉職員ビジネスマナー
6月23日（火）	ストレスケア研修
10月 6日（火）	リスクマネジメント研修
11月17日（火）	モチベーションアップ研修
11月27日（金）	福祉サービス苦情解決研修

訪問介護事業利用者数

	利用者数	訪問回数
25年度	995	14,317
26年度	1,103	13,760
27年度	1,132	12,365



△5月 調理実習の様子

（2）訪問入浴事業（ヘルパーステーション）

利用者の個々の身体状況に応じ、迅速に安心して入浴出来るように努めサービスを行ないました。外部研修に参加しサービスの質の向上に取り組みました。

19年利用している入浴車の老朽化が深刻になり、24時間テレビ、日本競輪、共同募金等へ補助金申請を提出しました。日本競輪補助事業より内定を頂き、現在交付申請中です。

健康福祉まつり等の催しに浴槽を展示し体験して頂いて、本サービスの目的や効果をアピールしました。また「在宅ネットあらお」事例検討会にて訪問入浴介護の発表を行いました。

【外部研修】

11月7日（土） 訪問入浴レベルアップセミナー参加

訪問入浴事業利用者数

	利用者数	訪問件数
25年度	125	533
26年度	155	640
27年度	145	623



△訪問入浴事業を在宅ネットあらおの研修会で発表しました。

(3) 居宅介護支援事業（ヘルパーステーション）

本事業は要介護状態になった場合も、可能な限り、居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるように配慮して相談支援に当たっています。

また、利用者の方の心身状況や家庭環境等に配慮し、利用者の選択に基づくサービス提供が行われるように支援しています。

- ・新規の利用については、直接ご家族が相談や来所されたり、施設や病院から依頼されたりするケースが多く、積極的に受け入れました。
- ・荒尾市在宅医療連携研修会にて各病院での事例検討会、研修会に積極的に参加しケアマネージャーとしての資質向上を図りました。
- ・最近、増加傾向にある、対応困難事例について荒尾市地域包括支援センター及び地域拠点型認知症疾患センターと連携し検討会を開催しています。また、事業所内でも事例検討会を行い問題について共有化し、対応できる体制を構築しました。

居宅介護支援事業利用延件数

	居宅介護支援	介護予防支援	計
25年度	700	236	936
26年度	760	310	1,070
27年度	718	297	1,015

(4) デイサービス事業（交流拠点あおば）

利用者一人一人の認知力や嗜好に合わせ、脳トレや机上での訓練ファイルを作成し、個別に応じたレクリエーションの提供を重視しました。また、ボランティアの協力を得ての演芸披露や、学童クラブ利用児と積極的に交流を行いました。

○施設外レクリエーションおよび機能訓練

- 5月 バラ園見学
- 6月 買い物訓練
- 10月 コスモス見学食事会

○学童クラブとの交流事業

- 7月29日（水） ボランティア演芸合同鑑賞会
- 10月13日（火） 学童合同ミニ運動会
- 12月25日（金） 学童合同年忘れ会



△ミニ運動会開催の様子

○定例行事

- ・大型展示物の作成（海、田園風景、クリスマスツリー、七福神）
- ・調理実習（恵方巻、ふな焼き、おはぎ、たこ焼き、いきなり団子）

デイサービス事業延件数

	開所日数	延べ利用者数
26年度	306	1,913
27年度	306	1,836



△おやつ作りの様子

【介護保険対象外事業】

(5) 介護保険対象外ホームヘルプ事業（ヘルパーステーション）

介護保険以外のサービスで自立の方や、介護保険の認定を取得しながらも入院等により介護保険を使えなくなった方など、利用者のニーズに合わせてサービスを行ないました。また、今年度は身体障がい者の方の受け入れも実施しました。

介護保険対象外ホームヘルプ事業利用延件数

	上乗せサービス	横だしサービス
25年度	32	66
26年度	4	72
27年度	3	96

【障がい福祉サービス事業】

(6) 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業（ヘルパーステーション）

利用者宅を訪問し介護計画に基づき、身体介護や家事援助の支援等を行いました。訪問介護事業と同様に職員の資質向上のため内部・外部研修に力を入れて取り組みました。また、利用者が健康福祉まつりや総会等に参加できるように同行援護にて積極的に支援を行いました。

居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業利用者数

	25年度	26年度	27年度
居宅介護	243	198	195
重度訪問介護	12	12	12
同行援護	51	51	65

(7) 地域生活支援事業（ヘルパーステーション）

地域生活支援事業利用延件数

	25年度	26年度	27年度
移動支援事業	11	11	12
障がい者訪問入浴	12	12	12

(8) 相談支援事業（ふれあい福祉センター）

計画相談支援に加え新年度より障害児相談支援の指定を取り、平成27年度までに利用者が相談支援を受けることができるよう行政や関係機関と連携や協力をして、サービス等利用計画の作成や継続サービスの利用支援を行いました。また、有明圏域障がい者とともに生きる支援協議会の「子供部会」「就労部会」「定例会議」に参加し関係機関との情報交換ができました。

相談支援利用者数

	25年度	26年度	27年度
計画相談支援	1	20	37
障害児相談	0	0	24

(11) 児童発達支援、放課後等デイサービス（ふれあい福祉センター）

障害児通所支援では、利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適應することができるよう、また、利用者が生活能力の向上のために必要な訓練を行い社会との交流を図ることができるよう、支援を実施しています。また、支援の質の向上と充実のため、職員のスキルアップと他機関との連携にも努めてきました。

○研修等への参加

利用者それぞれの障がい特性に合わせた個別支援をより充実させるために、研修受講の機会を多く持ち、職員のスキルアップに努めました。

①保育士等スキルアップ研修（熊本県こども総合療育センター主催）

参加人数：1名

受講日：10月29日（木）、30日（金）、11月6日（金）、20日（金）、
1月14日（木）、の計5日間

内容：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、心理療法士、保育士による講話、
施設実習、意見交換会

②療育公開講座（熊本県こども総合療育センター主催）

参加人数：3名

受講日：10月24日（土）

内容：「発達障がいの特性を持って育つということ」（表題）
自閉症スペクトラム障がいとADHDの定義・特性・発達課題について、
二次障害に関する環境要因・精神疾患・治療・支援について、等

③有明地域療育センター研修（有明地域療育センターすまいるきっず主催）

参加人数：6名

受講日：11月25日（水）、12月10日（木）、1月19日（火）、2月16日（火）

内容：「感覚統合について」「発達障がいの理解について」「言葉の発達について」「関係機関との連携について」

④全国放課後連 研修会 in 熊本（障がいのある子どもの放課後保障全国連絡会主催）

参加人数：1名

受講日：1月31日（日）

内容：「子どもにとっての放課後を一緒に考える」（表題）
放課後等デイサービスの役割・現状と課題・今後の展望について
個別支援計画を作成するための視点について

○関係機関との連携

・複数の事業所を併用されている利用者やその保護者、または複数のサービス利用の調整に困難さのある保護者に対し、直接的または相談支援事業所を介して間接的に支援を行いました。

・利用者支援の方法や方向性について、相談支援事業所の実施する担当者会議への出席や学校や保育所との支援会議の開催、移行支援シートによる情報提供等により関係機関間での共通理解をすすめるよう努めました。

- ・「荒尾市障がい者自立支援懇談会子ども部会」にて中心的役割を担い、荒尾市内の福祉・保健・医療機関等と連携し、荒尾市内の子育て世帯に向けて情報提供を行っています。子ども部会では、荒尾市内に潜在する「子どもの発達について困り感を持つ家庭」に対する情報提供が重要と考え、作成した情報提供書類を、市内の全保育園・幼稚園の年少から年長児全員に配布し、全小中学校には掲示を依頼して周知に取り組んでいます。

[子ども部会の活動内容]

①就学学習会の開催

開催日：平成27年6月28日（日）10時～12時

場 所：荒尾市ふれあい福祉センター

参加者：発達に心配のある幼児の保護者 11名

内 容：支援学校や特別支援学級への就学手続きについての説明及び先輩保護者による体験談の発表。座談会。

②子どもの発達に困り感のある保護者への情報提供書類の改訂、配布

「荒尾市子どもサポートネットワーク」…相談窓口を掲載

「荒尾市就学支援マップ」…就学に係る手続きの流れ、相談会の日程等を掲載

児童発達支援利用状況

	25年度	26年度	27年度
男 性	230	306	555
女 性	185	130	73
合 計	415	436	628
平 均	2.67	2.69	4.80
実施日数	155	162	131

放課後等デイサービス利用状況

	25年度	26年度	27年度
男 性	1,198	1,348	1,372
女 性	626	469	336
合 計	1,824	1,817	1,708
平 均	7.6	7.45	8.20
実施日数	240	244	209

専門家による支援

音楽療法	53名
発達相談	27名

(12) 日中一時支援事業（ふれあい福祉センター）

障がい児の家族の就労支援及び障がい児を日常的に介護している家族の休息を目的として、一時的な預かりを行いました。また、重度の身体障害児の受け入れにも力を入れました。

日中一時支援事業利用状況

	25年度	26年度	27年度
男性	107	88	139
女性	33	25	25
合計	140	113	164
平均	3.04	2.4	3.72
実施日数	46	47	44

(13) 生活介護事業（ふれあい福祉センター）

常時介護を要する利用者に対し、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供を行っています。27年度においては、重度障害をお持ちの方や長年にわたり引きこもり生活を続けられていた方などの困難事例に積極的に取り組みました。また、利用者及びご家族参加型の行事を行い、相互交流の機会を設けました。契約登録者は27年3月末現在で知的利用者11名、身体利用者18名の計29名となりました。

○臨時開所（入浴サービスの提供）

地域活動支援センターと合同で年末と大型連休中に臨時開所し、入浴サービスを提供しました。

5月4日（月） 9名
12月30日（水） 7名

○重度障害者や地域活動支援センターからの利用者の受け入れ

利用者家族の介護負担軽減、経済的負担軽減に取り組みました。

	人員
障害程度区分6	1
障害程度区分4	1
障害程度区分3	3



○ウォーキングを兼ねた近隣地域の清掃活動

20回/年

○日帰り旅行

10月30日(金) 熊本城彩苑、くまモンスクエア 14名(利用者家族含む)
 11月 5日(木) コッコファーム、菊池物産館 27名(地活と合同)

生活介護事業利用状況

	25年度	26年度	27年度
男 性	2,245	2,404	2,244
女 性	1,414	1,619	2,158
合 計	3,659	4,023	4,402
平 均	13.21	13.23	14.43
実施日数	277	304	305

講座別延利用者数

講座名	
パソコン	67
料 理	21
手 芸	117
生 花	10
書 道	79
カラオケ	63
合 計	357

(14) 地域活動支援センター事業(ふれあい福祉センター)

障害をお持ちの方へ講座活動、機能訓練、社会適訓練及びレクリエーション等の日中活動の機会を提供し、食事や入浴、必要な方には介助も行い一日を活動的に過ごしていただくために努めています。毎年の恒例事業を行いながら各関連事業との連携や外部への受け入れも行いました。また、職員の連携、資質の向上を図るため内部研修も行いました。

○定例事業

大型連休中の入浴サービス(生活介護事業と合同)

5月 4日(月) 1名

12月30日(水) 4名

日帰り旅行 11月 5日(木) コッコファーム、菊池物産館 18名

餅つき大会 12月11日(金) 21名

お楽しみ会 3月25日(金) 26名

○内部研修

1月28日(木) ~自分の長所・短所を現場で活かしましょう~

2月18日(木) ~障害者差別解消法について~

地域活動支援センター利用状況

	25年度	26年度	27年度
男 性	857	1,057	945
女 性	904	747	639
合 計	1761	1,804	1,584
平 均	7.31	7.42	6.57
実施日数	241	243	241

講座別延利用者数

講座名	
パソコン	187
手 芸	1
生 花	54
書 道	65
カラオケ	27
合 計	334

【子育て支援】

(15) 学童保育事業（交流拠点あおば）

児童、ひとりひとりの持つ基礎的な力に目を向けて指導を行い、家庭と連携を図りながら、個々に応じたペースを大切に学習や遊び、異学年生との交流の支援を行いました。また、内部研修をはじめ、外部研修へも積極的に参加し、職員のスキルアップを図りました。

・個別聞き取り表を作成・記入し、全職員で児童及び家庭状況の詳細な情報の共有に努めました。

○内部研修 1回/月（保護者との連携、リスクマネジメント、遊び方への配慮等）

○外部研修 8月 5日（水） 放課後児童指導員研修（熊本県主催）
10月25日（日） 支援員認定資格研修（熊本県主催）
11月 1日（日） 支援員認定資格研修（熊本県主催）
12月 6日（日） 支援員認定資格研修（熊本県主催）
12月20日（日） 支援員認定資格研修（熊本県主催）
7月14日（火） 事例検討会・研修（荒尾市学童保育協議会主催）
1月12日（火） 事例検討会・研修（荒尾市学童保育協議会主催）

○学校との連絡会 8月25日（火）
2月24日（水）

学童クラブあおば利用状況

	25年度	26年度	27年度
開設日数	291	291	291
通常登録児童数	35	44	47
長期休暇登録児童数	22	15	12
延べ利用者	—	—	9,396



△磯遊びの様子



△調理実習の様子

【総合生活支援】

(16) 福祉給食事業（ふれあい福祉センター）

身体状況により、買い物や調理等の食事の調達が困難な一人暮らしの高齢者や、高齢者世帯及び障がいを持たれた方を対象に昼食・夕食を配達し、健康状態を維持すると同時に安否確認を行いました。特に、27年度は市民の方への周知に力を入れ、多くの方に利用いただけるように努めました。

- ・身体的状況・食生活・食事摂取の実態等から高齢者向けの食事提供サービスを行うと同時に、声掛けや安否確認を行いました。
- ・食材の安全性・栄養のバランスの取れた食事・旬の食材、地場産食材の提供に努めました。
- ・校区民協・いきいきサロン等への福祉給食の周知に努めた結果、新規利用へ繋げる事ができ、前年度より1,600食近く食数を延ばす事が出来ました。
- ・安否確認の為、本人・近親者・民生委員・行政・各在介等への連絡を行い、その内1件は救急車を要請しました。

利用人員

	25年度	26年度	27年度
昼食	1,409	1,307	1,442
夕食	2,663	2,770	2,704
合計	4,072	4,077	4,146
配食日数	256	256	258
実人員	250	261	267



△福祉給食作業の様子

年間配食数

	25年度	26年度	27年度
昼食	18,961	17,326	22,580
夕食	41,306	42,211	38,542
合計	60,267	59,537	61,122



△できる限り手渡しでお届けし、安否確認をしています。

(17) 地域福祉権利擁護事業

認知症、知的、精神などいずれかの障害をお持ちの方が住み慣れた家で安心して暮らしていただけるよう、金銭管理や身の回りでの困りごと、福祉サービスの利用などの相談、援助を行っています。27年度は精神障害の方の契約が多く、様々な相談支援センターからの問い合わせが急増しました。

地域福祉権利擁護事業実績

	25年度	26年度	27年度
訪問件数	447	557	599
電話対応件数	1,288	1,654	1,934
新規契約件数	3	3	5
解約件数	2	4	3
年度末契約件数	16	15	17

(18) 生活福祉資金

相談者の中には、貸付に該当しない償還能力がない生活困窮者が多く、生活相談支援センターへつなぎ生活改善や就労支援へ結び付けたケースもありました。

貸付相談・償還指導等件数

	25年度	26年度	27年度
貸付相談対応	479	335	365
償還指導	563	308	197
申請決定数	12	4	4

(19) 生活資金

生活困窮者自立支援制度が4月発足し、福祉課保護係に加えて生活相談支援センターからの貸付依頼もあり、連携を取りながら借入者の自立を支援しました。

相談・貸付件数

	25年度	26年度	27年度
相談件数	40	54	44
相談延件数	226	183	197
貸付件数	26	35	32

(20) 訪問理美容サービス事業

27年度は施設で多数の方サービスを利用されました。

訪問理美容サービス事業実績

	25年度	26年度	27年度
事業所	164	170	157
利用者	810	767	841

(21) 心配ごと相談事業

○相談者数 9名

相談処理状況

	25年度	26年度	27年度
解決	5	3	8
再来	0	0	0
民生委員	0	0	0
他機関	6	0	1
その他	2	2	0
合計	13	5	9

法人運営部門

【広報、他団体事務、管理運営】

(1) 広報活動

広報紙「社協だより」などの紙媒体のものとホームページ、SNSなどを活用した電子媒体のものまで様々な世代に対し社協の活動を見ていただけるよう工夫しました。

広報紙発行状況

発行回数(回)	配布方法
年6回	全戸配布

(2) 共同募金、日赤団体事務

共同募金、日本赤十字ともに各世帯からの協力の減少と予算付けをされている区では1世帯あたり500円の寄付が予算上、厳しくなるところが増加し減額となりました。

募金実績額

	共同募金	日赤社資
25年度	8,749,237円	7,095,560円
26年度	8,624,630円	7,081,840円
27年度	8,220,768円	6,656,797円

(3) 災害見舞金事業

災害見舞金支払件数

	件数	金額
25年度	5件	150,000
26年度	5件	220,000
27年度	5件	170,000

(4) 法外援護事業

行路困難者旅券配布状況

	件数
25年度	14件
26年度	10件
27年度	11件

(5) 実習生受入れ

実習別受入状況

種 別	25 年度		26 年度		27 年度	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
社会福祉援助技術現場実習	0	0	4	92	1	23
訪問介護員養成研修（実習）	16	48	17	51	10	30

(6) 職場体験事業

利用状況

受入事業名	25 年度		26 年度		27 年度	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
地域介護予防支援事業	2	6	0	0	0	0
デイサービス	6	18	0	0	1	5
生活介護事業	2	6	3	9	0	0

(7) 総合福祉センター管理運営

利用状況

	25 年度		26 年度		27 年度	
	件数	利用人員	件数	利用人員	件数	利用人員
老人団体関係	1	15	1	20	1	20
身体障がい者関係	0	0	0	0	0	0
市役所	30	635	26	607	34	590
民生委員	61	938	52	572	104	1,399
遺族会	0	0	0	0	0	0
保護司会	0	0	6	120	6	140
社協	91	1,216	96	1,341	69	1,214
児童関係	0	0	0	0	0	0
その他	13	410	12	302	15	380
計	196	3,214	193	2,962	229	3,743

(8) ふれあい福祉センター管理運営

利用状況

	25年度		26年度		27年度	
	件数	利用人員	件数	利用人員	件数	利用人員
障がい者関係	152	686	143	643	102	602
ボランティア	196	1,345	224	1,563	219	1,531
民生委員	12	194	12	192	12	192
保健所	0	0	0	0	0	0
学校関係	0	0	0	0	0	0
公務	72	671	24	123	65	434
社協	15	175	15	133	21	165
地域住民	0	0	0	0	0	0
その他	40	590	37	474	31	442
計	492	3,661	455	3,128	450	3,366

(9) 潮湯管理運営

利用状況

	26年度			27年度		
	利用人員	敬老月間	計	利用人員	敬老月間	計
市内利用者	30,751	636	31,387	30,708	585	31,293
市外利用者	1,519	33	1,552	1,296	42	1,338
計	32,270	669	32,939	32,004	627	32,631